

クラブ活動報告

創立60周年記念事業「学びの高野街道プロジェクト」

河内長野ロータリークラブ

河内長野ロータリークラブ(会長 道簾 弘明)は、1961年3月に誕生し、先輩諸氏の活動の継続がこの60年の歩みとなり今日に至っております。親クラブの橋本ロータリークラブの指導を受けながら、地域に根ざした活動に果敢に取り組んできた先輩ロータリアンの姿に思いを馳せ、これまで当クラブに関わり頂いた皆様に感謝申し上げます。

河内長野市は、和歌山県の世界遺産「高野山霊場」と堺市の世界遺産「仁徳御陵」を結ぶ高野街道全行程約50kmのうち約16kmもの道のりが縦断している町で、西高野街道、中高野街道、東高野街道の三つの街道は、当市で合流し、一本の高野街道となっています。

当クラブ誕生以来、創立45周年では駅前に高野街道の石碑を、創立50周年では三田市宿の油屋跡の石碑を建立してきました。そして、今年度、創立60周年を迎えるにあたり、あらためて高野街道を網羅する「学びの高野街道プロジェクト」を立ち上げました。街道の歴史を楽しく学べるようにウェブサイトを開設し、誰もが街道を歩けるように、交差点など150箇所あまりの地点に道標を設置しました。

このプロジェクトは、地域の団体や地元のあらゆる世代を巻き込んで進めていきました。具体的には、①市との合同事業として認定。②街道ルートに関わる地元の6つのまちづくり協議会の協力。③地元の郷土研究家の指導、協力。④地元のICTエンジニアによるウェブサイト開設。⑤英語のウェブサイトページへの河内長野市国際交流協会の協力。⑥事業周知ポスター等に使用するイラストを地元の府立高校美術部より提供。⑦南海電鉄高野線各駅や地元の郵便局でのポスター掲出協力。などが挙げられます。多くの方が当市を訪れ、高野街道の歴史を学びながら街道歩きを楽しんでくれることを願います。

コロナ禍のなか、記念式典・記念講演会等は開催できませんでしたが、多くの方々のご協力、ご支援をいただき、このような記念事業が遂行できましたのは、60年という年月の歩みのなせる技なのかもしれません。このプロジェクトに取り組む中で感じた創立60年という歴史と伝統の重みを未来につないでいくために、これからも奉仕を通じて地域に恩返しをしたいと思います。

